

(倫理様式 2-2-1)

要支援状態にある高齢者の介護予防支援・介護予防ケアマネジメント における自立支援・重度化防止に資する要因に関する研究

1. 研究の対象

伊勢崎市北・三郷圏域において、要支援 1・2 の認定を受け、かつ介護予防支援・介護予防ケアマネジメントの利用者 148 名

2. 研究目的・方法

平成 28 年 4 月 1 日～平成 30 年 9 月 30 日の期間のうち、伊勢崎市北・三郷圏域において、要支援 1・2 の認定を受け、新規にサービス利用をした高齢者を対象とし、更新時の介護認定の結果を、「改善・維持群」と「悪化群」の 2 群に分け、比較検討を行う

3. 研究に用いる試料・情報の種類

情報：介護保険認定情報、病歴、家族状況、介護保険サービスの利用状況、利用者基本情報、基本チェックリスト、介護予防サービス・支援計画書 等

4. お問い合わせ先

本研究に関するご意見等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。
ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障が無い範囲で、研究計画及び関連資料を閲覧する事が出来ますのでお申し出下さい。

群馬県伊勢崎市大手町 1 番 1 号
高齢者相談センター（地域包括支援センター）北・三郷
0270-27-4548
研究責任者：江村 陽子